

(6) 食事のマナー・作法としての認識状況

箸の使い方

2.(1)に掲げる嫌い箸の7つの事項について、一般的には食事のマナーに反する行為とされるものとして知らなかったものはどれか調査を行った。

「全て知っていた」と回答した者の割合は約6割の62.4% (WB値)。

嫌い箸の7つの事項について「知らなかった」割合が高い順にみると、渡し箸(24.6%)、かき箸(13.5%)、さぐり箸(7.8%)、刺し箸(6.0%)、移り箸(4.3%)、寄せ箸(3.1%)、拾い箸(2.4%)(数値はいずれもWB値)の順。

年齢別でみると、年齢が高い階層ほど「全て知っていた」割合が高い傾向。一方、年齢が低い階層ほど「知らなかった」割合が高い傾向。

性別でみると、女性の方が男性よりも嫌い箸をしないことを食事のマナーとして認識している傾向。

2.(1)でみた箸の使い方(嫌い箸)に対する意識との関係を見ると、マナーとして認識している(得点が高い)者ほど、嫌い箸の箸使いに対する不快感が高い(得点が高い)傾向(相関係数: 0.27)。

2.(4)でみた箸の使い方との関係を見ると、マナーとして認識している(得点が高い)者ほど、嫌い箸の箸使いを行わない(得点が高い)傾向(相関係数: 0.29)であるが、意識と行動の関係(相関係数 0.48)ほど強い相関関係ではない。

図2-10-1 箸の使い方(嫌い箸)の食事のマナー・作法としての認識状況
(「知らなかった」事項【ランキング】)

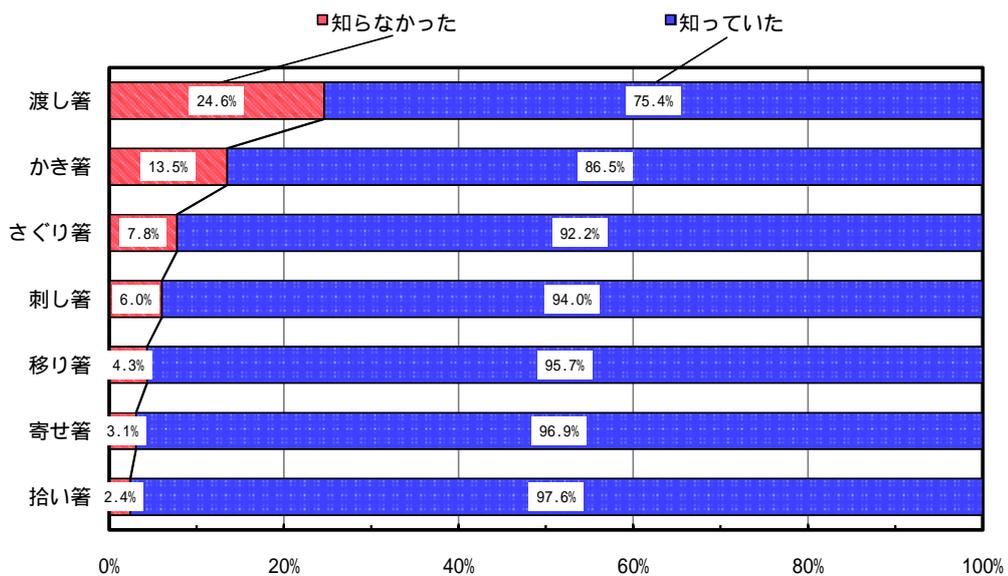


図2 - 10 - 2 箸の使い方（嫌い箸）の食事のマナー・作法としての認識状況
 （「知らなかった」事項【年齢・男女別】）

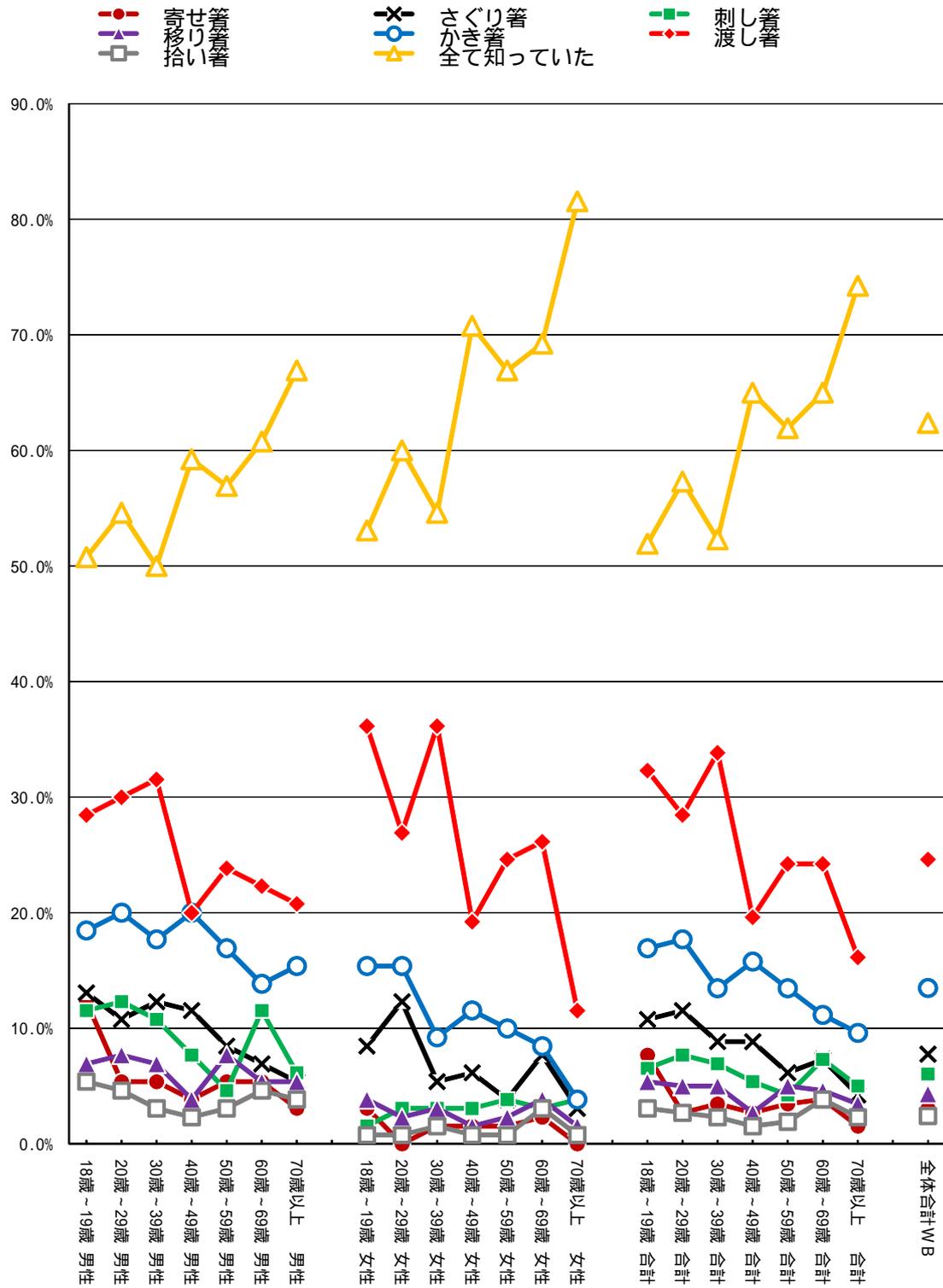


図2 - 10 - 3 箸の使い方（嫌い箸）に対する意識、箸の使い方（実際の行動）、箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況の相関関係（相関係数）

	箸の使い方に対する意識	箸の使い方（実際の行動）	箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況
箸の使い方に対する意識	1.000	-0.479	-0.273
箸の使い方（実際の行動）	-0.479	1.000	0.291
箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況	-0.273	0.291	1.000

箸の使い方（嫌い箸）に対する意識、箸の使い方（実際の行動）、マナーとしての認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものの相関係数。

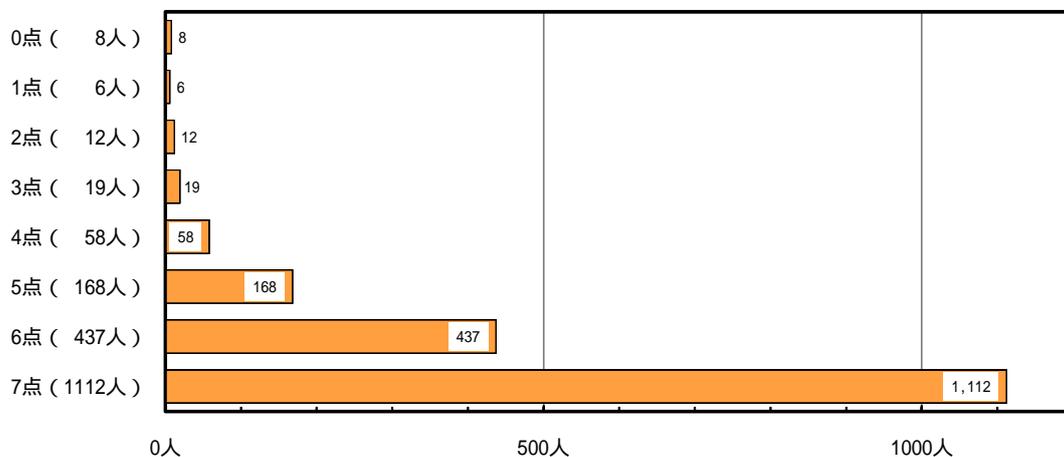
箸の使い方に対する意識：得点が低いほど、嫌い箸に対する不快感が高い（図2 - 4 - 4 参照）。

箸の使い方（実際の行動）：得点が低いほど、嫌い箸の箸使いを行っている（図2 - 9 - 6 参照）。

箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況：得点が低いほど、箸の使い方（嫌い箸）を食事のマナー・作法として認識していない（図2 - 10 - 4 参照）。

相関係数：2つの集団の関連性がどれくらいあるかを表す係数。数値が0の場合は2つの集団の関連性は最も弱く無関係の状態であり、数値が0から1または-1に近づくにつれて2つの集団の関連性は強くなっていく。

図2 - 10 - 4 箸の使い方（嫌い箸）の食事のマナー・作法としての認識状況の得点

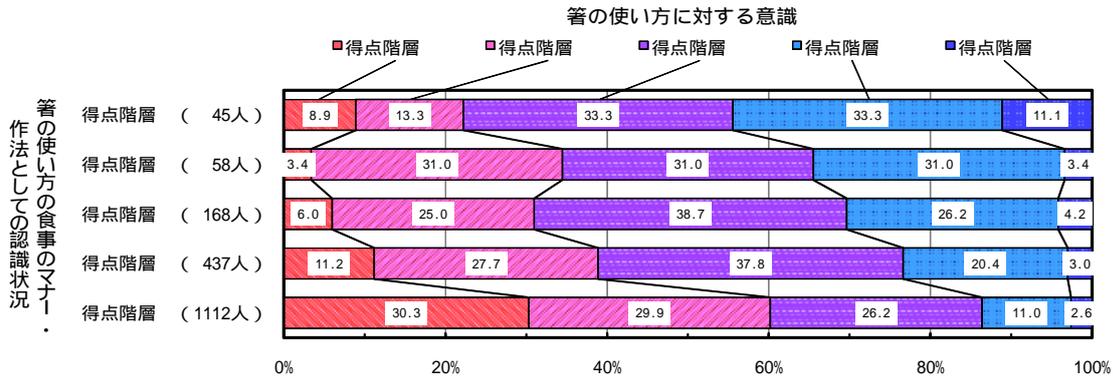


箸の使い方（嫌い箸）の食事のマナー・作法としての認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したもの（知っていた事項の数をそのまま得点化。全て知っていた場合は7点。）。

得点が低いほど、箸の使い方（嫌い箸）を食事のマナー・作法として認識していない。

最小値：0、最大値：7、平均値：6.4、標準偏差：1.1。

図2-10-5 箸の使い方に対する意識と
箸の使い方(嫌い箸)の食事のマナー・作法としての認識状況との相関関係(クロス集計)

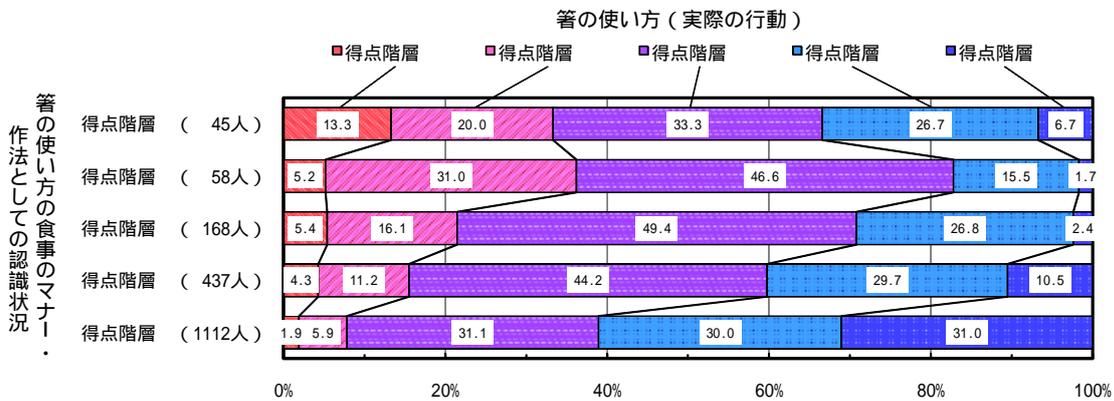


箸の使い方(嫌い箸)に対する意識と、箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものを、得点に応じて階層を設定し(平均を境におおよそ1標準偏差を基準に5区分)クロス集計をしたもの。

箸の使い方に対する意識: 得点階層が低いほど、嫌い箸に対する不快感が高い(得点階層が不快感が最も高く、得点階層が不快感が最も低い)(図2-4-4参照)。

箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況: 得点階層が低いほど、箸の使い方(嫌い箸)を食事のマナー・作法として認識していない(得点階層が最も認識しておらず、得点階層が最も認識している)(図2-10-4参照)。

図2-10-6 箸の使い方(実際の行動)と
箸の使い方(嫌い箸)の食事のマナー・作法としての認識状況との相関関係(クロス集計)



箸の使い方(実際の行動)と、箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものを、得点に応じて階層を設定し(平均を境におおよそ1標準偏差を基準に5区分)クロス集計をしたもの。

箸の使い方(実際の行動): 得点階層が低いほど、嫌い箸の箸使用を行っている(得点階層が最も嫌い箸の箸使用を行っており、得点階層が最も行っていない)(図2-9-6参照)。

箸の使い方の食事のマナー・作法としての認識状況: 得点階層が低いほど、箸の使い方(嫌い箸)を食事のマナー・作法として認識していない(得点階層が最も認識しておらず、得点階層が最も認識している)(図2-10-4参照)。

表2 - 10 - 1 箸の使い方（嫌い箸）の食事のマナー・作法としての認識状況

以下の箸の使い方は、一般的には食事のマナーや作法に反する箸使いとされているものです。
 この中であなたが食事のマナーや作法に反する箸使いとして知らなかったものがありますか。
 あてはまるものを次の中から全てお答えください。

		該当数	寄せ箸	さぐり箸	刺し箸	移り箸	かき箸	渡し箸	拾い箸	全て知っていた	計 (M.T.)	
単位		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	WB	1820	3.1	7.8	6.0	4.3	13.5	24.6	2.4	62.4	124.1	
年 代 別	18歳～19歳	260	7.7	10.8	6.5	5.4	16.9	32.3	3.1	51.9	134.6	
	20歳～29歳	260	2.7	11.5	7.7	5.0	17.7	28.5	2.7	57.3	133.1	
	30歳～39歳	260	3.5	8.8	6.9	5.0	13.5	33.8	2.3	52.3	126.2	
	40歳～49歳	260	2.7	8.8	5.4	2.7	15.8	19.6	1.5	65.0	121.5	
	50歳～59歳	260	3.5	6.2	4.2	5.0	13.5	24.2	1.9	61.9	120.4	
	60歳～69歳	260	3.8	7.3	7.3	4.6	11.2	24.2	3.8	65.0	127.3	
	70歳以上	260	1.5	4.2	5.0	3.5	9.6	16.2	2.3	74.2	116.5	
性 別	男 性	男性合計	910	5.8	9.8	9.2	6.3	17.5	25.3	3.8	57.0	146.9
		18歳～19歳	130	12.3	13.1	11.5	6.9	18.5	28.5	5.4	50.8	146.9
		20歳～29歳	130	5.4	10.8	12.3	7.7	20.0	30.0	4.6	54.6	146.9
		30歳～39歳	130	5.4	12.3	10.8	6.9	17.7	31.5	3.1	50.0	146.9
		40歳～49歳	130	3.8	11.5	7.7	3.8	20.0	20.0	2.3	59.2	146.9
		50歳～59歳	130	5.4	8.5	4.6	7.7	16.9	23.8	3.1	56.9	146.9
		60歳～69歳	130	5.4	6.9	11.5	5.4	13.8	22.3	4.6	60.8	146.9
		70歳以上	130	3.1	5.4	6.2	5.4	15.4	20.8	3.8	66.9	146.9
	女 性	女性合計	910	1.4	6.7	3.1	2.6	10.5	25.8	1.2	65.2	146.9
		18歳～19歳	130	3.1	8.5	1.5	3.8	15.4	36.2	0.8	53.1	146.9
		20歳～29歳	130	0.0	12.3	3.1	2.3	15.4	26.9	0.8	60.0	146.9
		30歳～39歳	130	1.5	5.4	3.1	3.1	9.2	36.2	1.5	54.6	146.9
		40歳～49歳	130	1.5	6.2	3.1	1.5	11.5	19.2	0.8	70.8	146.9
		50歳～59歳	130	1.5	3.8	3.8	2.3	10.0	24.6	0.8	66.9	146.9
60歳～69歳		130	2.3	7.7	3.1	3.8	8.5	26.2	3.1	69.2	146.9	
70歳以上		130	0.0	3.1	3.8	1.5	3.8	11.5	0.8	81.5	146.9	
参考	単純集計	1820	3.6	8.2	6.2	4.5	14.0	25.5	2.5	61.1	125.7	

食事のマナー

2.(2)の食事のマナーの項目のうち、「箸の持ち方」()を除き、「食事中に携帯の操作」()を「食事中に他の事をする」に、「食事終了がバラバラ」()を「食事の早さを周囲に合わせない」に置き換えた10の事項について、一般的には食事のマナーに反するとされる行為ものとして知らなかったものはどれか調査を行った。

「全て知っていた」と回答した者の割合は過半数の56.3%(WB値)。

一般的には食事のマナーに反するとされる10の行為について「知らなかった」割合が高い順にみると、「食事の早さを周囲に合わせない」(33.3%)、「交互に食べない」(14.0%)、「食べ物を残す」(8.0%)、「食事中に他の事をする」(4.1%)、「食事の挨拶をしない」(3.6%)、「食べ物をこぼす」(3.0%)、「茶碗を持たない」(2.7%)、「食器類で音を立てる」(2.5%)、「口を開けて音を立てる」(1.9%)、「食卓に肘をつく」(1.4%)(数値はいずれもWB値)の順。

年齢別でみると、年齢が高い階層ほど「全て知っていた」割合が高い傾向。

「食事の早さを周囲に合わせない」ことについての認識は、18歳~19歳では50.4%に対し、70歳以上で18.8%と、年齢が低い階層と高い階層とで認識の差が大きい(31.6%の差)。

性別でみると、女性の方が男性よりも、食事のマナーを認識している傾向。

2.(2)でみた食事のマナーに対する意識との関係を見ると、マナーとして認識している(得点が高い)者ほど、一般的には食事のマナーに反するとされる行為に対する不快感が高い(得点が高い)傾向(相関係数:他人 0.22、家族 0.28)。

2.(4)でみた食事のマナーで行っていることとの関係を見ると、マナーとして認識している(得点が高い)者ほど、一般的には食事のマナーに反するとされる行為を行わない(得点が高い)傾向(相関係数:0.28)であるが、意識と行動の関係(相関係数:他人 0.30、家族 0.43)ほど強い相関関係ではない。

図 2 - 1 1 - 1 食事のマナー・作法の認識状況（「知らなかった」事項【ランキング】）

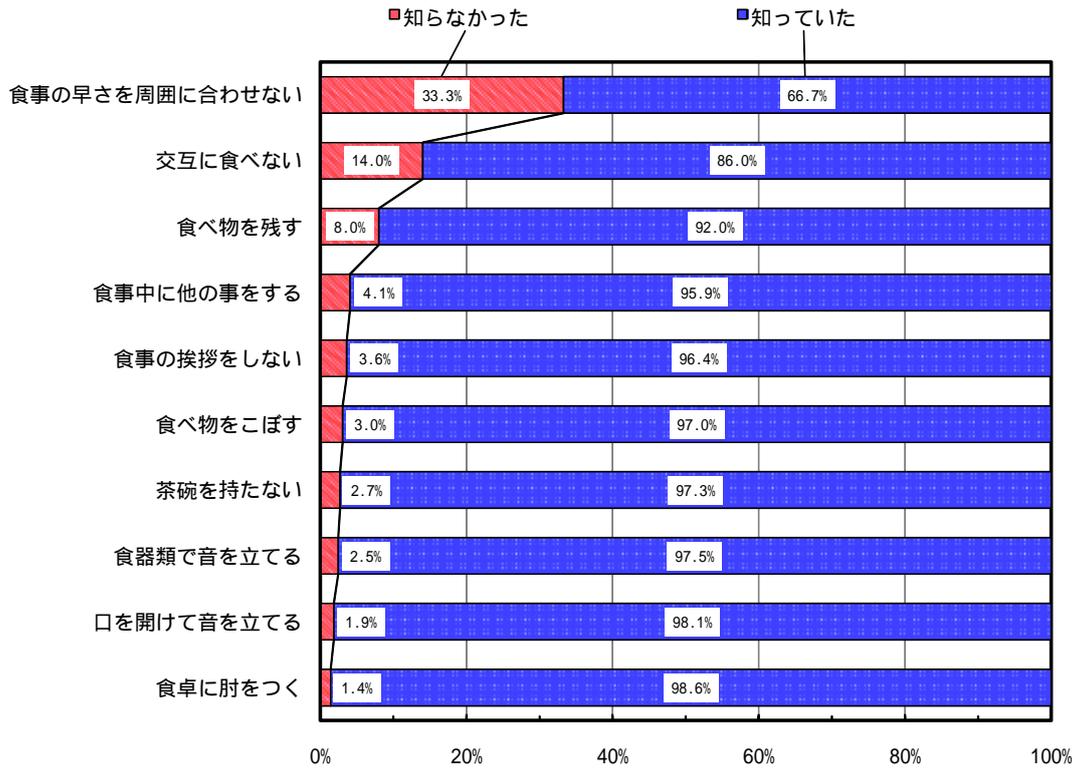


図2-11-2 食事のマナー・作法の認識状況(「知らなかった」事項【年齢・男女別】)

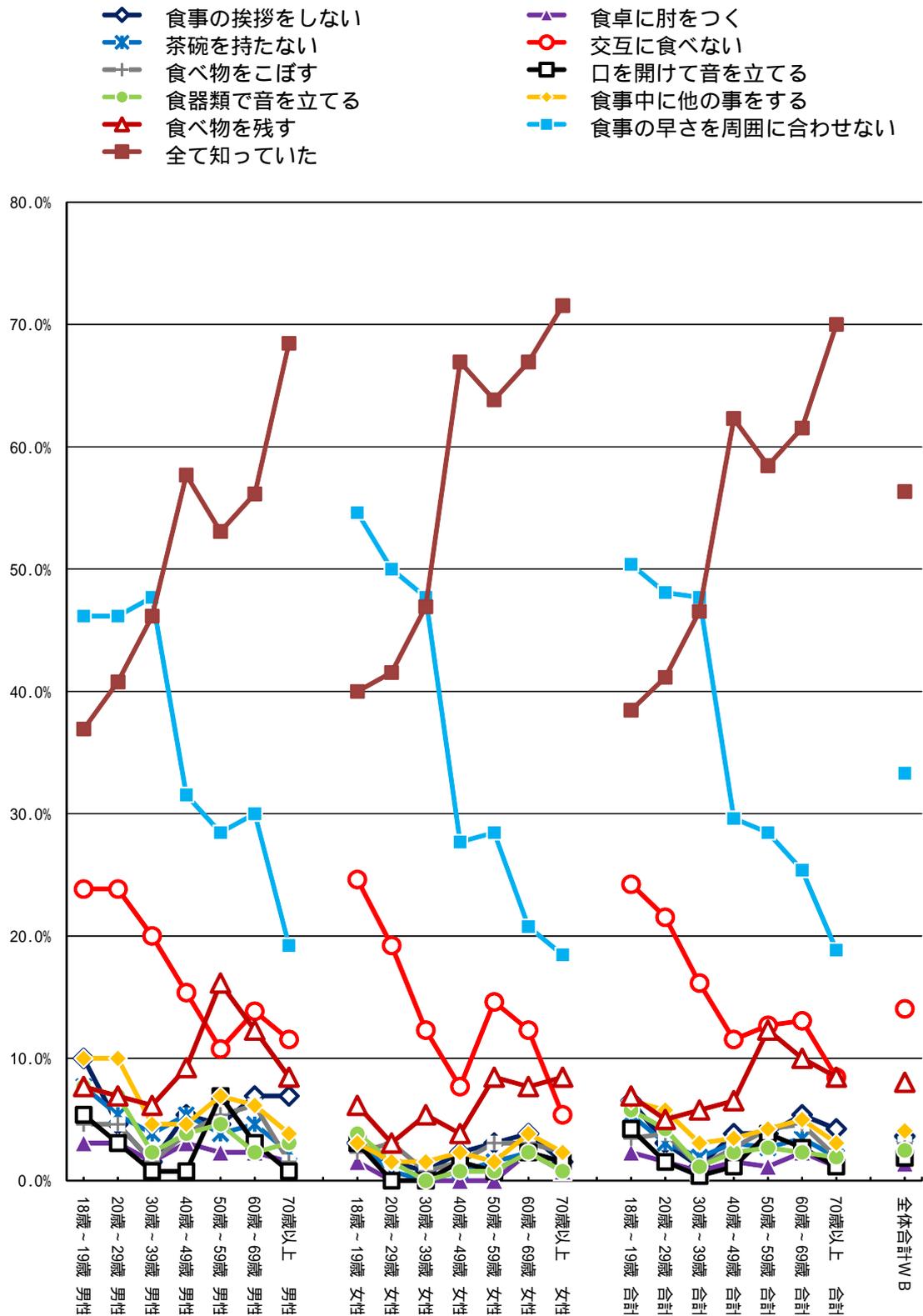


図 2 - 1 1 - 3 食事のマナー・作法に対する意識、食事のマナー・作法で行っていること（実際の行動）、食事のマナー・作法の認識状況の相関関係（相関係数）

	食事のマナーに対する意識（他人）	食事のマナーに対する意識（家族）	食事のマナーで行っていること（実際の行動）	食事のマナー・作法の認識状況
食事のマナーに対する意識（他人）	1.000	0.693	-0.304	-0.217
食事のマナーに対する意識（家族）	0.693	1.000	-0.429	-0.281
食事のマナーで行っていること（実際の行動）	-0.304	-0.429	1.000	0.276
食事のマナー・作法の認識状況	-0.217	-0.281	0.276	1.000

食事のマナーに対する意識、行っていること（実際の行動）、マナーとしての認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものの相関係数。

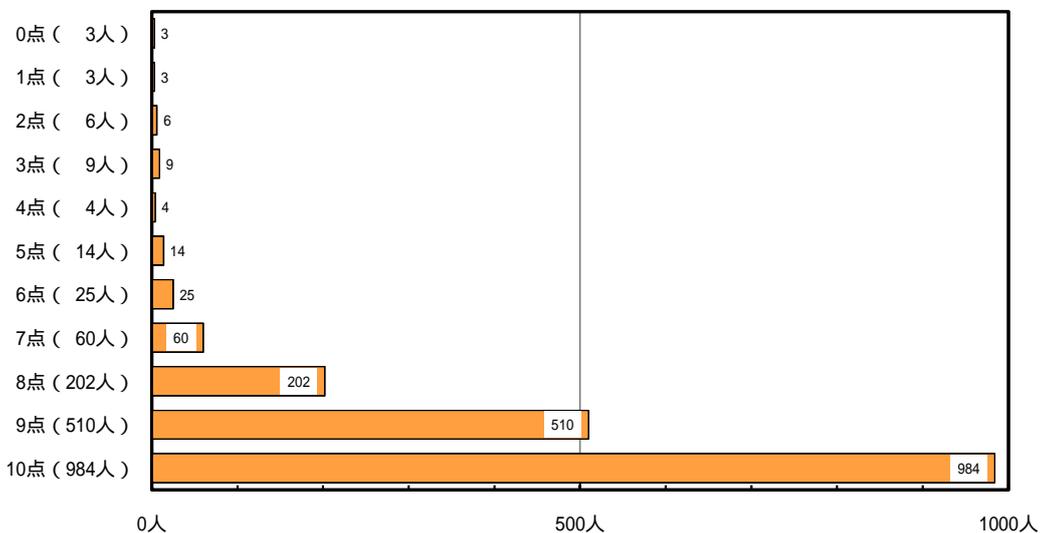
食事のマナーに対する意識：得点が低いほど、一般的には食事のマナーに反するとされる行為に対する不快感が高い（図 2 - 4 - 5、図 2 - 4 - 6 参照）。

食事のマナーで行っていること（実際の行動）：得点が低いほど、一般的には食事のマナーに反するとされる行為を行っている（図 2 - 9 - 7 参照）。

食事のマナー・作法の認識状況：得点が低いほど、食事のマナー・作法を認識していない（図 2 - 1 1 - 4 参照）。

相関係数：2つの集団の関連性がどれくらいあるかを表す係数。数値が0の場合は2つの集団の関連性は最も弱く無関係の状態であり、数値が0から1または-1に近づくにつれて2つの集団の関連性は強くなっていく。

図 2 - 1 1 - 4 食事のマナー・作法の認識状況の得点

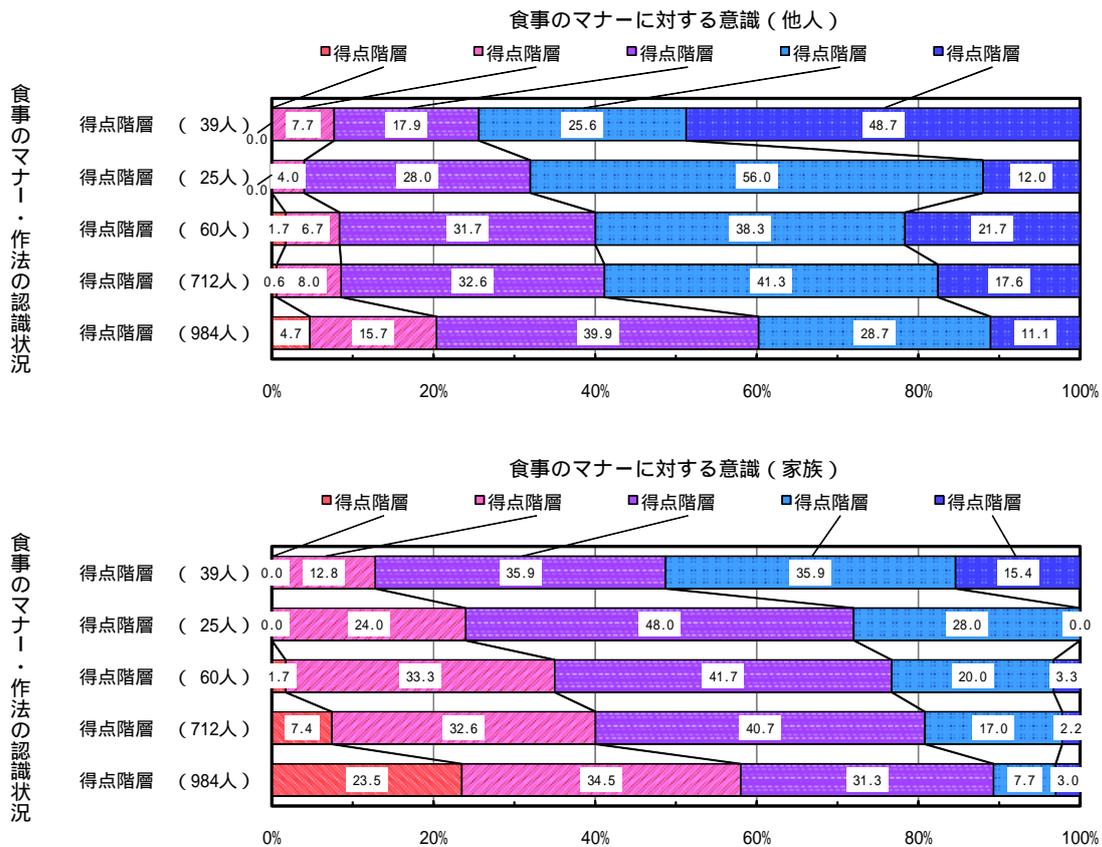


食事のマナー・作法の認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したもの（知っている事項の数をそのまま得点化。全て知っていた場合は10点。）

得点が低いほど、食事のマナー・作法を認識していない。

最小値：0、最大値：10、平均値：9.2、標準偏差：1.3。

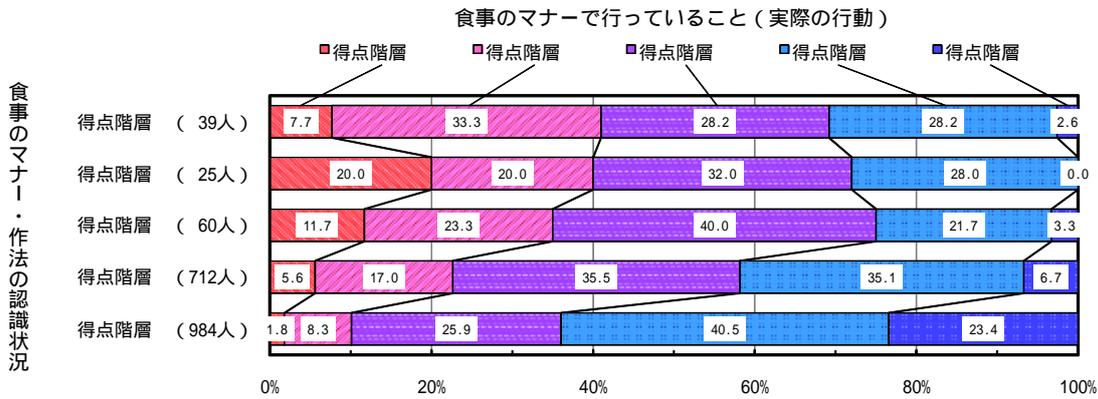
図 2 - 1 1 - 5 食事のマナーに対する意識と
食事のマナー・作法の認識状況との相関関係（クロス集計）



食事のマナーに対する意識と、食事のマナー・作法の認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものを、得点に応じて階層を設定し（平均を境におおよそ1標準偏差を基準に5区分）クロス集計をしたもの。

食事のマナーとして認識している（得点が高い）者ほど、一般的には食事のマナーに反るとされる行為に対する不快感が高い（得点が低い）傾向（不快感は得点階層が最も高く、得点階層が最も低い。マナーの認識は得点階層が最も認識しておらず、得点階層が最も認識している。）(図2-4-5、図2-4-6、図2-11-4参照)。

図2 - 1 1 - 6 食事のマナーで行っていること（実際の行動）と
食事のマナー・作法の認識状況との相関関係（クロス集計）



食事のマナーで行っていること（実際の行動）と、食事のマナー・作法の認識状況を選択肢に応じて得点を付与し、得点化したものを、得点に応じて階層を設定し（平均を境におおよそ1標準偏差を基準に5区分）クロス集計をしたもの。

食事のマナーとして認識している（得点が高い）者ほど、一般的には食事のマナーに反するとされる行為を行わない（得点が高い）傾向（マナーで行っていることは得点階層 が一般的には食事のマナーに反するとされる行為を最も行っており、得点階層 が最も行っていない。マナーの認識は得点階層 が最も認識しておらず、得点階層 が最も認識している。）（図2 - 9 - 7、図2 - 1 1 - 4 参照）。

表 2 - 1 1 - 1 食事のマナー・作法の認識状況

以下の食事の際の態度や姿勢は、一般的には食事のマナーや作法に反することとされているものです。この中であなたが食事のマナーや作法に反する事項として知らなかったものはありませんか。あてはまるものを次の中から全てお答えください。

	該当数	食事のマナー・作法の認識状況											計 (M.T.)	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
単位														
総数	WB	1820	3.6	1.4	2.7	14.0	3.0	1.9	2.5	4.1	8.0	33.3	56.3	130.9
年 代 別	18歳～19歳	260	6.5	2.3	5.4	24.2	3.5	4.2	5.8	6.5	6.9	50.4	38.5	154.2
	20歳～29歳	260	3.1	1.5	3.1	21.5	3.8	1.5	4.2	5.8	5.0	48.1	41.2	138.8
	30歳～39歳	260	1.2	0.8	1.9	16.2	1.2	0.4	1.2	3.1	5.8	47.7	46.5	125.8
	40歳～49歳	260	3.8	1.5	3.1	11.5	2.7	1.2	2.3	3.5	6.5	29.6	62.3	128.1
	50歳～59歳	260	3.8	1.2	2.7	12.7	4.2	3.8	2.7	4.2	12.3	28.5	58.5	134.6
	60歳～69歳	260	5.4	2.3	3.5	13.1	4.6	2.7	2.3	5.0	10.0	25.4	61.5	135.8
	70歳以上	260	4.2	1.2	1.9	8.5	1.9	1.2	1.9	3.1	8.5	18.8	70.0	121.2
性 別	男性合計	910	5.7	2.4	4.7	17.0	4.0	3.0	4.4	6.6	9.6	35.6	51.3	144.3
	18歳～19歳	130	10.0	3.1	7.7	23.8	4.6	5.4	7.7	10.0	7.7	46.2	36.9	163.1
	20歳～29歳	130	4.6	3.1	5.4	23.8	4.6	3.1	6.9	10.0	6.9	46.2	40.8	155.4
	30歳～39歳	130	1.5	1.5	3.8	20.0	1.5	0.8	2.3	4.6	6.2	47.7	46.2	136.2
	40歳～49歳	130	5.4	3.1	5.4	15.4	3.8	0.8	3.8	4.6	9.2	31.5	57.7	140.8
	50歳～59歳	130	4.6	2.3	3.8	10.8	5.4	6.9	4.6	6.9	16.2	28.5	53.1	143.1
	60歳～69歳	130	6.9	2.3	4.6	13.8	6.2	3.1	2.3	6.2	12.3	30.0	56.2	143.8
	70歳以上	130	6.9	1.5	2.3	11.5	1.5	0.8	3.1	3.8	8.5	19.2	68.5	127.7
	女性合計	910	2.3	0.7	1.4	13.7	2.3	1.3	1.4	2.3	6.2	35.4	56.8	123.8
	18歳～19歳	130	3.1	1.5	3.1	24.6	2.3	3.1	3.8	3.1	6.2	54.6	40.0	145.4
	20歳～29歳	130	1.5	0.0	0.8	19.2	3.1	0.0	1.5	1.5	3.1	50.0	41.5	122.3
	30歳～39歳	130	0.8	0.0	0.0	12.3	0.8	0.0	0.0	1.5	5.4	47.7	46.9	115.4
	40歳～49歳	130	2.3	0.0	0.8	7.7	1.5	1.5	0.8	2.3	3.8	27.7	66.9	115.4
	50歳～59歳	130	3.1	0.0	1.5	14.6	3.1	0.8	0.8	1.5	8.5	28.5	63.8	126.2
60歳～69歳	130	3.8	2.3	2.3	12.3	3.1	2.3	2.3	3.8	7.7	20.8	66.9	127.7	
70歳以上	130	1.5	0.8	1.5	5.4	2.3	1.5	0.8	2.3	8.5	18.5	71.5	114.6	
参考	単純集計	1820	4.0	1.5	3.1	15.4	3.1	2.1	2.9	4.5	7.9	35.5	54.1	134.1